

くまもと未来ネット通信

Kumamoto Mirai Net Working Report

(通信のPDF配信を希望される方は、E-mailでご連絡をお願い致します)

ご挨拶 代表 原育美

昨年の春、突然始まったロシアによるウクライナ侵攻。1年半になろうとする今も戦果は拡大し、食料とエネルギーの安定供給が滞り、世界の脱炭素計画も後退を余儀なくされています。持続可能な地域づくりも地球環境の保全も遠のいていく状況の中で、私たちは地域で地道に活動を続けてきました。皆様には、私たちの活動を長年ご支援いただき心より感謝申し上げます。

組織運営についてはリモート参加も取りこみながら毎月理事会を開催。理事が事務局を兼ねる事で必要最低限の経費（実費）でこの数年を維持して参りました。当会が所有する太陽光発電施設（2カ所）の設置費用の借入返済を来期には終え、若干の活動費の確保は可能となりますので、事務局人材の確保を進めます。また、現在の事務所も解体のため、あと一年の期限で移転をする予定です。私たちも後継者問題を抱えつつ、微力ですが、今期も持続可能な社会づくりに貢献していきたいと思えます。

■「豊かで災害に強いふるさとの森づくり基金」寄付の募集を開始！

地域課題の解決のための資金確保と提供のために設立された「一般財団法人くまもとSDGs推進財団」（コミュニティ財団）では、『豊かで災害に強いふるさとの森づくり基金』を立上げ寄付の募集を開始しました。以下にその目的の記述から抜粋し引用します。皆様のご寄付をお待ちしています。



2020年7月の人吉球磨の豪雨災害の細かい原因調査から、球磨川流域の森の状況が被害を拡大させたとの指摘があり、大規模な皆伐、鹿の食害、適正間伐の停滞などによって、山の荒廃が急速に拡大していることが度々指摘されています。多くの山で表土流失が進行し、裸の斜面に岩がころうじて乗っている危険な場所も多く確認されています。

地球規模の気候変動によって、今後も豪雨が全国各地で頻発することが予想されています。このため、保水力を持つ健全な山を取り戻す取り組みが、熊本県内でも求められています。

山・森の再生活動は多岐に渡り、長期的に対応するためにも、多くの民間団体の関わりと協働が必要とされています。これら実動を担う団体に、志金を託すための資金調達を一般財団法人くまもとSDGs推進財団が行い、長期にその活動を支援するために『豊かで災害に強いふるさとの森づくり基金』を立ち上げることにしました。

人工林では皆伐地が広がっています。この皆伐は、山肌がむき出しになり、土砂崩れを容易に引き起こすきっかけにもなっています。また、急速に増加するシカの食害によって、広範囲で森の下草が消え、あちこちで深刻な土砂流出を起こしています。自然林・人工林を問わず森の荒廃によって保水力が著しく低下すると、降った雨は多くの土砂とともに川に流れ込み、川底を押し上げ、更に被害を大きくしてしまいます。いま日本各地で起きている豪雨災害は、山の問題でもあるのです。

集まったご寄付は、この問題解決の活動を行う実行団体へ分配し活用されます。

- ◆豊かで災害に強いふるさとの森づくり基金

<https://congrant.com/project/kumamoto/8893>

- ◆一般財団法人くまもとSDGs推進財団

<https://kspf.or.jp/>

※球磨川流域の森の管理状況については、以下の記事でも引用していますので、ご参照下さい。

<https://kumamoto-mirai.com/energy-projects/82-2022-04-25-07-52-42.html#wood>



皆伐後の状態



鹿の食害

■「持続可能なアライグマ防除のしくみづくり」への取り組み、R5年度県の防除研修の実施



九州北部の各県（長崎・佐賀・福岡・大分）がことごとくアライグマ防除に失敗し、農作物に大きな被害に出て、現在、打つ手のない状態となっています。いまだ生息数の少ない熊本県でいち早く取り組むことで「九州初の防除成功事例」となるかもしれません。現在はそのスタート地点であり、今後の取り組み次第で、スイカや夏みかん、ニワトリや球磨川の尺鮎など、熊本が誇る農作物の未来が決まると考えています。

直接の被害が及ぶであろう組織の方々にお会いして、各組織が協同することで、県がまとまって動くアライグマ防除体制づくりが出来ないかと考えています。

一本の木財団の助成を受け、3月中旬、熊本市北区役所であったアライグマの防除講習会を開催し、自治体や農協職員、地元猟友会員、15名へ早期対策の重要性を訴えました。

行政と住民が連携したシステムの早期構築が目標です。自治体が箱わなを徹底的に仕掛け、住民が日常的にわなの確認と点検をする方法を推奨し、周知に力を入れる。タヌキなどとの見分け方や捕獲の手順を記した独自の「被害対策マニュアル」も作成し、出没地域の住民に配っています。

また、大学生インターンシップ事業（NPO法人ドットジェーピー）や開新高校自然科学同好会との協同事業にも取り組み、若い世代への問題の共有も続けています。

この問題については知事との面談も実現し、日本で唯一の対策成功例を提唱されている、関西野生生物研究所の川道美枝子先生を招き、令和5年度の熊本県アライグマ防除研修を実施しました。（歌岡）



研修活動時に発見したアライグマの足跡

■フェアトレードキャンディ誕生！ 買って食べて途上国を支援



※各記事のSDGs指標は代表的なものを表示、他にも多くが該当します。

地元熊本市の菓子メーカーの「オークラ製菓」と「フェアトレードシティくまもと推進委員会」とがコラボして開発、国際フェアトレードラベル機構（本部・ドイツ）認証を受け、待望の熊本発フェアトレードキャンディが誕生しました！

熊本市が2011年にフェアトレードシティをアジア初（1000番目）で認定を受けてから10周年（2021年）記念の企画として進められ、コロナや様々なことを乗り越えて実現したフェアトレード商品です。

キャンディには、黒糖味（県産蓮根パウダー入り）とチョコレート味の2種類があり、西アフリカや東南アジア産の黒糖やカカオを使用しています。フェアトレードならではのホッとする優しい味です！（明石）



お求めやすいお値段で全国販売も開始しました。

<お問い合わせ>

フェアトレードシティくまもと推進委員会事務局

熊本市中央区新屋敷1-9-7（フェアトレード・ラブランド内）

Tel: 080-3084-7093(代表:明石) Mail: ftc.kumamoto@gmail.com

日本初！全国販売！

フェアトレードキャンディ

<p>黒糖キャンディ</p> <p>値段 216円 内容量 50g 賞味期限 390日</p> <p>フェアトレードラベル機構 認定商品 フェアトレード・ラブランド 認定商品</p>	<p>チョコレートキャンディ</p> <p>値段 216円 内容量 40g 賞味期限 390日</p> <p>フェアトレードラベル機構 認定商品 フェアトレード・ラブランド 認定商品</p>
--	--

販売店舗募集中！ お問い合わせは ☎ 080-3084-7093 まで！

好評販売中！

■ TSMCの進出、SONY第2工場、TSMC第2工場の計画に、地下水（環境）は耐えられるのか



国の減反政策等により、熊本の重要な地下水の涵養地帯である白川中流域でも、コメの生産が減少した結果、10年で20%もの地下水の減少（江津湖の地下水位）が確認されていた矢先に、SONYの半導体工場が熊本へ進出する話がありました。

当時、ネットワークから上記の環境変化（悪化）を得て懸念していた私たち（旧環境ネットワークくまもと：私たちの前身）は、2001年にSONYへ公開質問状を送り、工場の環境負荷の情報公開を求めました。SONYからの真摯な回答があり、協働で2003年より地下水涵養プロジェクトがスタートしました。（現在も涵養継続中）

今回、TSMC（JASM）の熊本進出が決まり来春からの稼働が計画されています。徐々にですがマスコミ経由で地下水の取水量等の環境負荷が明らかになって来ました。2001年当時の環境負荷増大（危機）の再来として注目を続けています。

県や業界はマスコミ経由で経済効果等の情報を数多く流し、ネット上では様々な問題の指摘があり、当会にもいくつかの質問等が来ています。中には極端な陰謀論的な物もありますが、出来る限りの調査をして情報を整理し提供しています。

また、2001年の活動開始時に設立され関係者が集う「豊かな地下水を育むネットワーク」（私たちも運営委員で参加）で、この問題は協議が継続されており、この場で具体的な対応策が出てくるのが良いと考えています。

大津「瀬田地区水田涵養協議会」が設立され、関係者の提案による白川中流域での冬季湛水事業が開始されました。6.7hr×5カ月で100万トン以上の推定ですが、JAMSが提示した地下水使用計画（年間）の310万2500トンにはまだまだ足りません。SONYの第2工場、TSMCの第2工場の稼働を考えると、次の一手を考える必要があります。

元々の白川中流域が涵養する潜在能力は高いものがありますが、それを引き出すには、白川中流域の協力農家さんが農業経営を継続できる環境を整える事です。また、受益者である熊本市周辺の市民が地下水を涵養した農産物を消費して支える継続的な仕組みを構築する必要があります。

また当会は、熊本県の「地下水と土を育む農業推進県民会議」の委員として会議に参加しています。そこでの動向を踏まえ、引き続きこの問題を注視し、提言や報告を続けます。（大住・井上）



白川中流域での冬季湛水が始まる

■ 米国 College of the Atlantic の学生へのレクチャー



小国のTAO塾・波多野さんからの推薦で、アメリカの大学（College of the Atlantic）の学生・杉本さん（熊本市出身）から、熊本市を題材にした

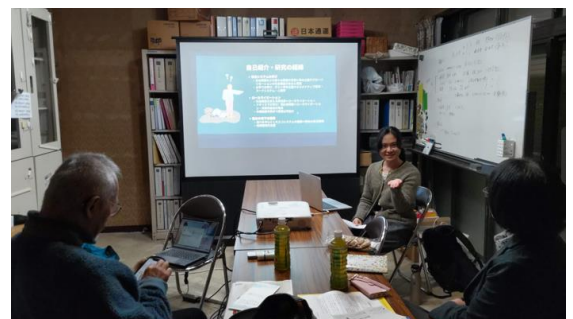
「ローカリゼーション」の研究をするので助言を、との依頼が来ました。総会前で多忙な時期でしたが、研究前の情報提供（10/18）とプレゼン完成後のレクチャー（11/15）で対応しました。

完成した研究のタイトルは「白川流域地下水、自己循環システム」です。一旦完成したプレゼンは短期間の調査でしたが全体像を捉えていて、なかなか良い内容でした。彼女の今後の成長を期待したいと思います。（宮瀬、井上）

ローカリゼーションとは？

<https://ideasforgood.jp/glossary/localization/>

地域の中で資源やお金を回し、生産地と消費地、生産者と消費者、人々と自然界の距離を縮め、地域の人々が自分たちで自立して経済（エコノミー）を回すことを指す。「グローバル化」の対極にある活動・あり方とも言えます。



■九州電力の出力制御について

当会の団体正会員でもあり、太陽光発電システムの設置事業者の九州太陽電池工業さんが呼びかけ、熊日新聞の取材を受け、10/16,17日にその記事が掲載されました。資源エネルギー庁は10%前後と言っていますが、所有する2基の太陽光発電所では、春季で発電量の約14%が制御（発電しているのに受入れず破棄）されている状態です。今後秋季の制御が行われると、さらに大きな損失となります。実際の制御は各電力会社が自由に裁量するため、原子力や火力を優先し再生可能エネルギーを破棄する状況です。（井上）



■ソーラーシェアリング事業を停止し事業会社を解散しました

政治的要因等から原材料の高騰や、九州電力による太陽光・風力に対する出力制御（買取の制御）が最終要因となり、採算が取れない為、計画中の全4か所について、前期に事業からの撤退を決定し、事業会社「株式会社エネルギーファームくまもと」を解散致しました。協力いただきました各農家さんをはじめ、皆様のご期待に沿えず大変申し訳ありません。今後も、得られた知見を活用しつつ、脱炭素・再生可能エネルギーの普及に取り組んでまいります。（原・井上）



■編集後記（事務局の活動から）

- ◆今回も会報が年報の様になりました。会報という伝達手段は手数が掛かります。現代の時間感覚には追従が難しく、タイムリーな問題提起や情報提供はホームページをご参照いただければと思います。
- ◆法人としての事務を担当理事として対応して来ましたが、今17期は所有する太陽光発電施設（2カ所）の設置費用の借入返済を終え、若干の活動経費の確保は可能となりますので、事務要員を確保したいと考えております。お心当たりの方は、ぜひご連絡をお願い致します。（理事の高齢化や健康問題のため、また本来の理事としての活動に注力したいと思います）
- ◆現在の事務局が家屋解体のため、一年後を期限として引越しが必要になりました。こちらも、心当たりの情報がありましたら、ご連絡をお願い致します。（井上）

ご支援・ご協力をありがとうございます（2022.10～2023.9）

【正会員】

（個人）粟谷利夫、手嶋敬、中村潤三、坂本講一、鎌田聡、小椋清市、園田敬子、梅原尚佳、朱永徳、菅野隆明、田尻和子、鳥崎一郎、田上辰也、山口久臣、大住和子、歌岡宏信、中地重晴、明石祥子

（法人・団体）（医）原武会 北部病院、（社）熊本県保険医協会、（医）秋津レクタウンクリニック

【賛助会員】

（個人）永村一泰、愛甲三朗、菊水正博、備後由喜江、中村博子、村山和之、真次寛、反後人美、沼津秀樹、清田真理子、中坊真、鬼海洋一、平野みどり、吉住真、中田哲也、渡辺利男、内田敬介、吉川美加、坂田愛沙、立山ちづ子、松生由紀子、奥山真理子

（法人・団体）熊本県労働者福祉協議会、（公財）阿蘇グリーンストック、（有）熊本装新、よもぎ薬局、白井工業（株）

【維持会員】九州太陽電池工業、宇野昭彦、原育美、宮北隆志、宮瀬美津子、井上智 ※敬称は省略しております。

寄付・会費等のお支払いは以下の口座へよろしくお願い致します。

肥後銀行 味噌天神支店	普通預金	1495574	NPO法人くまもと未来ネット
九州労働金庫 熊本支店	普通預金	2702440	NPO法人くまもと未来ネット
郵便振替 記号01930-4	番号60756		NPO法人くまもと未来ネット

【発行】



〒862-0942 熊本市東区江津1-7-17
TEL 096-362-3776 / FAX 096-200-6395
E-mail : home@kumamoto-mirai.com
Web Site : <https://kumamoto-mirai.com>



QRコード